

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年11月14日
【四半期会計期間】	第44期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
【会社名】	新日本瓦斯株式会社
【英訳名】	SHINNIHON GAS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山本 勝
【本店の所在の場所】	埼玉県北本市古市場一丁目5番地
【電話番号】	048(592)2411(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 室岡 弘一
【最寄りの連絡場所】	埼玉県北本市古市場一丁目5番地
【電話番号】	048(592)2411(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 室岡 弘一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次		第44期 第2四半期連結累計期間	第44期 第2四半期連結会計期間	第43期
会計期間		自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高	(千円)	4,313,938	1,927,402	10,013,559
経常利益又は 経常損失()	(千円)	66,820	187,052	210,127
当期純利益又は 四半期純損失()	(千円)	40,484	114,632	111,326
純資産額	(千円)		6,086,679	6,157,832
総資産額	(千円)		12,026,652	12,991,440
1株当たり純資産額	(円)		676.50	684.41
1株当たり当期純利益 又は四半期純損失()	(円)	4.50	12.74	12.37
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)		50.6	47.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	575,673		1,685,935
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	941,941		1,551,694
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	246,937		8,128
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		465,749	1,078,955
従業員数	(名)		123	127

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
 おりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載して
 おりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	123 (28)
---------	----------

- (注) 1 臨時従業員には、パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いています。
2 前連結会計年度末までは、ガス検針委託人を臨時従業員に含めておりましたが、当第1四半期連結会計期間から除いております。なお、当第2四半期連結会計期間のガス検針委託人は96名であります。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	121 (24)
---------	----------

- (注) 1 臨時従業員には、パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いています。
2 前会計年度末までは、ガス検針委託人を臨時従業員に含めておりましたが、当第1四半期会計期間から除いております。なお、当第2四半期会計期間のガス検針委託人は93名であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

当社グループについては、「ガス事業」が業績に占める割合が高く、当該事業が生産及び供給・販売活動の中心となっております。

以下は、「ガス事業」について記載しております。

(1) 生産実績

製品	項目		当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
			製造量及び購入量(千m ³)
ガス	製造ガス		757
	購入ガス	天然ガス	7,980
	合計		8,737

(注) 1 製造量及び購入量は、1m³当たり43.1メガジュール換算で表示しております。

2 現在、天然ガス(13A)への切替作業中であります。

(2) 受注実績

「ガス事業」については、事業の性質上、受注生産は行っておりません。

(3) 販売実績

区分		当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
		数量(千m ³)	金額(千円)
ガス販売量・売上高	家庭用	3,731	674,872
	業務用	5,252	303,213
合計		8,983	978,086
月平均調定件数(件)		57,377	
調定件数1件当たり月平均販売量(m ³)		52.2	

(注) 1 販売量は、1m³当たり43.1メガジュール換算で表示しております。

2 業務用は、商業用・工業用・その他用の総括であります。

3 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油、原材料価格の高騰による企業収益の悪化や個人消費の停滞に加え、米国のサブプライムローン問題を背景とした金融市場の混乱から、円高、株安などにより、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

エネルギー業界では、原油高騰に伴う原料価格の上昇に加え、規制緩和などを背景に家庭用から工業用のあらゆる分野で、エネルギー間の競合が一段と激しさを増しており、ガス事業を取巻く環境は大変厳しい状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、環境にやさしい天然ガス（13A）への熱量変更作業を進めるとともに、ガスの普及拡大を図るため積極的な提案営業、保安の確保及び安定供給に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は、1,927,402千円となりました。

一方、利益面につきましては、経費の削減に努めたものの、LPGガス原料価格高騰による売上原価の増加、熱量変更費用の増加等により営業損失は183,878千円、経常損失は187,052千円、四半期純損失は114,632千円となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

ガス事業

当第2四半期連結会計期間末のお客様件数は、前連結会計年度末に比べ520件増の62,094件となり、当第2四半期連結会計期間のガス販売量は、前年同期に比べ3.6%増加の8,983千 m^3 、ガス売上高は前年同期に比べ1.7%増加の978,086千円となり、営業損失は50,812千円となりました。

工事・器具事業

当第2四半期連結会計期間の工事・器具事業売上高につきましては、積極的な営業活動を展開いたしました。公共施設の空調等大口物件の減少により445,932千円となり、営業損失は12,303千円となりました。

LPG事業

LPG事業の当第2四半期連結会計期間末のお客様件数は、前連結会計年度末に比べ639件増の16,873件となりました。

当第2四半期連結会計期間のガス販売量は、積極的な新規開拓により家庭用の販売量は伸びたものの、大口需要家が減少したことにより業務用の販売量が減少したため、前年同期に比べ10.2%減の2,329tとなりました。

LPG事業の売上高は、474,265千円となり営業損失は11,350千円となりました。

その他の事業

その他の事業の当第2四半期連結会計期間の売上高は、天然水の宅配事業等で29,720千円となり、営業損失は4,760千円となりました。

- (注) 1 上記のセグメント別売上高には、セグメント間の内部売上高602千円を含んでおります。
2 ガス事業のガス販売量は、1 m^3 当たり43.1メガジュール換算で表示しております。また、LPG事業のガス販売量は、1kg当たり50.2326メガジュール換算で表示しております。
3 売上高には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に現預金及び売掛債権の減少等により当第1四半期連結会計期間末に比べ371,591千円減の12,026,652千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、関係会社短期債務の減少等により、当第1四半期連結会計期間末に比べ237,320千円減の5,939,972千円となりました。

純資産は、四半期純損失の計上等により当第1四半期連結会計期間末に比べ134,270千円減の6,086,679千円となりました。この結果、自己資本比率は、当第1四半期会計期間末に比べ0.4%増の50.6%となり、1株当たり純資産額は、当第1四半期連結会計期間末に比べ14円92銭減の676円50銭となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」と言う。）は、当第1四半期連結会計年度末に比べ25.2%減少の465,749千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、341,095千円となりました。この主な収入要因は減価償却費277,091千円、売上債権の減少177,671千円であり、主な支出要因は仕入債務の減少額225,882千円、税金等調整前四半期純損失172,212千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は536,005千円となりました。これは、主にガス供給設備をはじめとする有形固定資産の取得による支出405,009千円、熱量変更作業に伴う繰延資産の取得による支出117,679千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は38,262千円となりました。この主な収入要因は長期借入れによる収入300,000千円によるものであり、主な支出要因は長期借入金の返済による支出261,295千円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成20年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,000,000	9,000,000	東京証券取引所 市場第二部	
計	9,000,000	9,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年9月30日		9,000		500,000		72,548

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本瓦斯株式会社	東京都中央区八丁堀 2 - 10 - 7	3,607	40.08
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (退職給付信託岩谷産業口)	東京都港区浜松町 2 - 11 - 3	1,477	16.41
日本瓦斯運輸整備株式会社	東京都西東京市芝久保町 1 - 23 - 1	176	1.96
三菱UFJ信託銀行株式会社 常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町 2 - 11 - 3	175	1.94
山 中 和 子	埼玉県久喜市	141	1.57
新日本ガス取引先持株会	埼玉県北本市古市場 1 - 5	116	1.29
関 口 勉	埼玉県南埼玉郡白岡町	115	1.28
新日本瓦斯従業員持株会	埼玉県北本市古市場 1 - 5	109	1.22
あいおい損害保険株式会社 常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町 2 - 11 - 3	108	1.20
本 多 美 津 夫	埼玉県北本市	89	0.99
計		6,115	67.95

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,700		株主として権利内容に制限のない 標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,993,400	89,934	同上
単元未満株式	普通株式 3,900		同上
発行済株式総数	9,000,000		
総株主の議決権		89,934	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式15株が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 新日本瓦斯株	北本市古市場1 - 5	2,700		2,700	0.0
計		2,700		2,700	0.0

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	399	396	364	345	355	355
最低(円)	398	379	337	345	345	320

(注) 株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)及び「ガス事業会計規則」(昭和29年通商産業省令第15号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、協立監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	159,752	162,619
供給設備	6,227,638	6,493,061
業務設備	659,611	641,459
その他の設備	800,140	818,521
建設仮勘定	151,892	64,928
有形固定資産合計	<u>7,999,034</u>	<u>8,180,591</u>
無形固定資産		
のれん	664,016	682,587
その他	34,664	37,760
無形固定資産合計	<u>698,681</u>	<u>720,348</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	95,636	108,708
繰延税金資産	137,462	128,127
その他	352,921	245,660
投資その他の資産合計	<u>586,021</u>	<u>482,496</u>
固定資産合計	<u>9,283,737</u>	<u>9,383,435</u>
流動資産		
現金及び預金	665,749	1,088,987
受取手形及び売掛金	464,653	902,115
製品	45,239	105,185
原料	24,993	26,003
貯蔵品	105,988	100,775
繰延税金資産	66,614	62,244
その他	348,609	362,150
貸倒引当金	10,514	17,707
流動資産合計	<u>1,711,334</u>	<u>2,629,755</u>
繰延資産		
開発費	1,031,580	978,249
繰延資産合計	<u>1,031,580</u>	<u>978,249</u>
資産合計	<u>12,026,652</u>	<u>12,991,440</u>

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	2,534,245	2,777,095
退職給付引当金	252,111	230,945
役員退職慰労引当金	165,344	172,955
ガスホルダー修繕引当金	36,557	30,527
その他	109,537	17,280
固定負債合計	3,097,796	3,228,804
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	1,049,830	1,019,650
支払手形及び買掛金	307,786	564,347
短期借入金	200,000	-
未払法人税等	25,174	106,234
関係会社短期債務	723,338	1,339,090
賞与引当金	91,474	85,692
その他	444,570	489,787
流動負債合計	2,842,175	3,604,802
負債合計	5,939,972	6,833,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	72,548	72,548
利益剰余金	5,479,342	5,542,320
自己株式	1,151	1,134
株主資本合計	6,050,738	6,113,733
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	35,941	44,098
評価・換算差額等合計	35,941	44,098
純資産合計	6,086,679	6,157,832
負債純資産合計	12,026,652	12,991,440

(2)【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	4,313,938
売上原価	2,383,013
売上総利益	1,930,925
供給販売費及び一般管理費	
供給販売費	1 1,747,014
一般管理費	1 241,505
供給販売費及び一般管理費合計	1,988,520
営業損失()	57,595
営業外収益	
受取利息	720
受取配当金	1,193
雑収入	8,322
営業外収益合計	10,236
営業外費用	
支払利息	19,462
営業外費用合計	19,462
経常損失()	66,820
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,896
事業譲渡益	15,553
特別利益合計	19,449
特別損失	
固定資産売却損	863
固定資産除却損	238
投資有価証券評価損	497
特別損失合計	1,598
税金等調整前四半期純損失()	48,969
法人税、住民税及び事業税	600
法人税等調整額	9,085
法人税等合計	8,485
四半期純損失()	40,484

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	1,927,402
売上原価	1,085,452
売上総利益	841,949
供給販売費及び一般管理費	
供給販売費	911,762
一般管理費	114,065
供給販売費及び一般管理費合計	1,025,828
営業損失()	183,878
営業外収益	
受取利息	538
受取配当金	23
雑収入	5,810
営業外収益合計	6,372
営業外費用	
支払利息	9,546
営業外費用合計	9,546
経常損失()	187,052
特別利益	
貸倒引当金戻入額	885
事業譲渡益	15,553
特別利益合計	16,438
特別損失	
固定資産売却損	863
固定資産除却損	238
投資有価証券評価損	497
特別損失合計	1,598
税金等調整前四半期純損失()	172,212
法人税、住民税及び事業税	24,264
法人税等調整額	33,315
法人税等合計	57,579
四半期純損失()	114,632

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	48,969
減価償却費	546,642
のれん償却額	18,571
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,193
受取利息及び受取配当金	1,913
支払利息	19,462
売上債権の増減額(は増加)	437,857
たな卸資産の増減額(は増加)	55,742
仕入債務の増減額(は減少)	616,546
長期前払費用償却額	21,824
繰延資産償却額	218,793
無形固定資産償却費	6,363
賞与引当金の増減額(は減少)	5,782
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,610
退職給付引当金の増減額(は減少)	21,165
ガスホルダー修繕引当金の増減額(は減少)	6,030
有形固定資産除却損	8,662
未払消費税等の増減額(は減少)	12,003
事業譲渡損益(は益)	15,553
その他	12,941
小計	668,174
利息及び配当金の受取額	1,913
利息の支払額	18,736
法人税等の支払額	75,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	575,673
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	648,769
投資有価証券の取得による支出	201
無形固定資産の取得による支出	6,285
無形固定資産の売却による収入	3,018
工事負担金等受入による収入	2,439
定期預金の払戻による収入	10,032
繰延資産の取得による支出	272,125
長期前払費用の取得による支出	44,675
事業譲渡による収入	15,553
その他	927
投資活動によるキャッシュ・フロー	941,941
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	524,420
自己株式の取得による支出	17
配当金の支払額	22,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	246,937
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	613,205
現金及び現金同等物の期首残高	1,078,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	465,749

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
<p>会計処理の原則及び手続の変更</p> <p>(1)「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。</p> <p>なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。</p> <p>(2)リース取引に関する会計基準の適用</p> <p>「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成5年6月17日最終改正平成19年3月30日企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成6年1月18日最終改正平成19年3月30日企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零として算定する方法によっております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。</p> <p>なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。</p>

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
<p>1 固定資産の減価償却費の算定方法</p> <p>定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。</p> <p>2 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法</p> <p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 20,327,193千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 19,808,314千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)		
1 供給販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。		
科目	供給販売費 (千円)	一般管理費 (千円)
給料	191,099	87,914
賞与引当金繰入額	83,919	7,555
退職給付引当金繰入額	33,594	2,206
役員退職慰労引当金繰入額	2,505	9,777
ガスホルダー修繕引当金繰入額	6,030	
需要開発費	334,562	
減価償却費	542,543	7,594
のれん償却額		18,571

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日至平成20年9月30日)		
1 当社グループの売上高は、ガス事業のウェイトが高いため、冬期を中心に多く計上されるという季節変動要因があります。		
2 供給販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。		
科目	供給販売費 (千円)	一般管理費 (千円)
給料	96,236	42,085
賞与引当金繰入額	55,586	5,036
退職給付引当金繰入額	21,974	1,583
役員退職慰労引当金繰入額	1,291	4,513
ガスホルダー修繕引当金繰入額	3,015	
需要開発費	173,146	
減価償却費	274,255	3,923
のれん償却額		9,285

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	
現金及び預金勘定	665,749千円
預入期間が3か月超の定期預金	
当座借越	200,000
現金及び現金同等物	465,749千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	9,000,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	2,715

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	22,493	2.5	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年10月30日 取締役会	普通株式	22,493	2.5	平成20年9月30日	平成20年11月19日	利益剰余金

5 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	ガス事業 (千円)	工事・器具 事業 (千円)	LPG事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	978,086	445,860	473,888	29,566	1,927,402		1,927,402
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		71	376	153	602	(602)	
計	978,086	445,932	474,265	29,720	1,928,004	(602)	1,927,402
営業損失()	50,812	12,303	11,350	4,760	79,226	(104,652)	183,878

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	ガス事業 (千円)	工事・器具 事業 (千円)	LPG事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,330,395	896,403	1,024,559	62,581	4,313,938		4,313,938
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		71	376	328	776	(776)	
計	2,330,395	896,475	1,024,935	62,909	4,314,715	(776)	4,313,938
営業利益 又は営業損失()	174,147	1,584	9,138	5,835	160,758	(218,353)	57,595

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

事業区分	主要な製品等の内容
ガス	ガス導管を通じて供給する都市ガス
工事・器具	工事.....需要家ガス設備 器具.....ガスヒートポンプエアコン(GHP)・温水式ガス床暖房・給湯器等ガス機器 ・住宅リフォーム工事・ガスコージェネレーションシステム
LPG	LPG・都市ガス供給区域外簡易ガス・LPG用需要家ガス設備・LPG用ガスヒートポンプエアコン(GHP)等ガス機器・LPG需要家住宅リフォーム工事
その他	生活関連商品・ガスを他のエネルギーへの加工業務・天然水・家庭用置き薬等

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

在外子会社及び及び在外事業所がないため、開示の対象となる事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高がないため、開示の対象となる事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
676.50円	684.41円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間末 平成20年9月30日	前連結会計年度末 平成20年3月31日
四半期連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	6,086,679	6,157,832
普通株式に係る純資産額(千円)	6,086,679	6,157,832
普通株式の発行済株式数(千株)	9,000	9,000
普通株式の自己株式数(千株)	2	2
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (千株)	8,997	8,997

2 1株当たり四半期純損失

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純損失() 4.50円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失() (千円)	40,484
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	40,484
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,997

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純損失()	12.74円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失() (千円)	114,632
普通株式に係る四半期純損失(千円)	114,632
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,997

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間
 (自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当社は、平成20年10月30日開催の当社取締役会において、当社の特定子会社である白岡ガス株式会社を平成20年12月13日をもって、すべての事業を当社が譲り受け、同社は解散することを決議いたしました。

1 当該事象の発生日
 平成20年10月30日 取締役会決議

2 当該事象の内容

特定子会社の概要

会社名 白岡ガス株式会社
 所在地 埼玉県南埼玉郡白岡町新白岡三丁目48番地
 代表者 代表取締役社長 中島寛泰
 設立 昭和58年11月15日
 資本金 250百万円
 主な事業内容 簡易ガス事業、ガス機器の販売、ガス配管工事の設計・施工
 従業員数 4名
 発行済株式数 2,500株
 株主 新日本瓦斯株式会社 100%
 業績等

	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	179,759千円	218,777千円	220,501千円
経常利益又は 経常損失()	28,733	23,371	2,041
当期純利益又は 当期純損失()	18,339	16,024	2,723
純資産	405,032	416,057	413,334
総資産	433,994	465,728	463,118

解散及び清算の理由

同社は、白岡町内2ヶ所において約2,200戸のお客様に簡易ガス事業でLPガス供給を行っておりますが、この度、同団地への天然ガス供給及び当社グループ全体の経営資源の集中と経営の効率化を図るため、平成20年12月13日をもって、すべての事業を当社が譲り受け、同社は解散することといたしました。

解散及び清算の日程

平成20年12月(予定) 白岡ガス株式会社 臨時株主総会
 平成21年3月(予定) 白岡ガス株式会社 清算終了

3 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該解散及び清算による連結損益への影響額は、特別損失に係る会社整理損として約6億円が計上される見込みです。なお、この影響額については今後様々な要因によって変動する場合があります。

2【その他】

第44期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）中間配当については、平成20年10月30日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 22,493千円

1株当たりの金額 2円50銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成20年11月19日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月12日

新日本瓦斯株式会社
取締役会 御中

協立監査法人

代表社員 公認会計士 朝 田 潔 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 田 中 伴 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている新日本瓦斯株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、新日本瓦斯株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成20年10月30日開催の取締役会において、子会社である白岡ガス株式会社を解散することを決議している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。